



平成 30 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 30 年 1 月 30 日

上場会社名 株式会社コメリ

上場取引所 東

コード番号 8218 URL <http://www.komeri.bit.or.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 捧 雄一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営企画室ゼネラルマネジャー (氏名) 早川 博 (TEL) 025 (371) 4111

四半期報告書提出予定日 平成 30 年 2 月 14 日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 30 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 29 年 4 月 1 日~平成 29 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30 年 3 月期第 3 四半期	267,009	3.4	15,488	1.1	15,503	0.9	10,411	3.6
29 年 3 月期第 3 四半期	258,212	1.1	15,316	△6.0	15,362	△3.7	10,052	△2.3

(注) 包括利益 30 年 3 月期第 3 四半期 11,386 百万円 (8.7%) 29 年 3 月期第 3 四半期 10,472 百万円 (2.3%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
30 年 3 月期第 3 四半期	円 銭 205.55	円 銭 205.35
29 年 3 月期第 3 四半期	円 銭 198.49	円 銭 198.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30 年 3 月期第 3 四半期	320,001	164,720	51.4
29 年 3 月期	306,562	155,241	50.6

(参考) 自己資本 30 年 3 月期第 3 四半期 164,603 百万円 29 年 3 月期 155,121 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29 年 3 月期	—	19.00	—	19.00	38.00
30 年 3 月期	—	19.00	—	—	—
30 年 3 月期(予想)	—	—	—	20.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 30 年 3 月期の連結業績予想 (平成 29 年 4 月 1 日~平成 30 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	349,000	5.9	18,200	9.1	18,300	8.9	11,100	0.8	219.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	54,409,168株	29年3月期	54,409,168株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	3,756,462株	29年3月期	3,765,404株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	50,650,059株	29年3月期3Q	50,644,343株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
3. 補足情報	8
商品部門別売上状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、底堅い内外需を背景に緩やかな景気回復が続いております。また、堅調な雇用・所得情勢や株高等を背景として、個人消費も緩やかな回復基調となりました。

小売業界におきましては、消費者の節約志向が根強く、消費の二極化がより鮮明になってまいりました。

このような状況のもと、当社グループは、パワー（以下、PW）、ホームセンター（以下、HC）、ハードアンドグリーン（以下、HG）の店舗フォーマット毎の標準モデルを作成し、新店及び既存店への水平展開を図ることで、店舗の活性化に注力いたしました。当第3四半期連結累計期間で、PW13店舗、HC7店舗、HG109店舗、合計129店舗の既存店改装を実施いたしました。また、PW全店において、EDLP（エブリデイ・ロー・プライス）政策を更に推進したことにより、PWの客数及び一人当たり買上点数が堅調に推移し、売上全体を牽引いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間における既存店売上高前年比は、100.8%となりました。

新規出店につきましては、PW8店舗（北海道2、宮城県、長野県、群馬県、千葉県、三重県、奈良県）、HC6店舗（北海道、岩手県、群馬県、栃木県、茨城県、岐阜県）を開店いたしました。また、HG2店舗（栃木県、富山県）をスクラップ&ビルドによりHCへ業態転換いたしました。閉店につきましては、上記2店舗のほかHG3店舗、アテナ（以下、AT）1店舗を実施いたしました。これらにより、当第3四半期末の店舗数は、PW52店舗、HC165店舗、HG963店舗、AT12店舗、合計で1,192店舗となりました。また、売場面積は、第3四半期連結累計期間として過去最大級の増加となりました。

(商品部門別の状況)

・金物・資材・建材

電動工具本体及び関連パーツ、作業用品や作業衣料の販売が堅調に推移いたしました。また、12月の寒波及び降雪により防寒衣料や長靴の販売も堅調に推移いたしました。これにより売上高は、790億78百万円（前年同期比104.0%）となりました。

・園芸・農業用品

PB商品の野菜苗・草花苗等の植物や刈払機・除草剤等の除草関連商材の販売が堅調に推移いたしました。また、12月は、除雪用品の販売も堅調に推移いたしました。これにより売上高は、636億24百万円（同102.6%）となりました。

・家庭用品

エアコンや石油ファンヒーター等の冷暖房機器や布団等の寝具の販売が堅調に推移いたしました。これにより売上高は、686億20百万円（同101.1%）となりました。

・オフィス・レジャー用品

猫用フード・スナック等のペット用品の販売が堅調に推移いたしました。また、自社開発品の収納ボックスや座椅子の販売も堅調に推移いたしました。これにより売上高は、352億1百万円（同102.1%）となりました。

・灯油他

灯油の販売は、市場価格の値上がりに伴った単価の上昇と気温の低下による販売数量の増加により、前年を大きく上回りました。これにより売上高は、82億17百万円（同139.1%）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は、2,670億9百万円（前年同期比103.4%）、営業利益は、154億88百万円（同101.1%）、経常利益は、155億3百万円（同100.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、104億11百万円（同103.6%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、1,396億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億53百万円増加いたしました。主に商品及び製品が47億13百万円減少いたしました。現金及び預金が38億42百万円、流動資産その他に含まれる預け金が38億60百万円増加したことによるものであります。固定資産は、1,803億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ99億85百万円増加いたしました。主に有形固定資産の増加によるものであります。

この結果、総資産は、3,200億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ134億39百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、961億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ141億2百万円増加いたしました。主に短期借入金が69億20百万円減少いたしました。1年内返済予定の長期借入金が127億39百万円、電子記録債務が49億44百万円、流動負債その他に含まれる未払金が24億5百万円増加したことによるものであります。固定負債は、590億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ101億42百万円減少いたしました。主に長期借入金の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、1,552億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億60百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、1,647億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ94億78百万円増加いたしました。主に利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は、51.4%（前連結会計年度末は50.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年4月25日に公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,858	11,700
受取手形及び売掛金	14,443	15,812
商品及び製品	106,243	101,529
原材料及び貯蔵品	184	256
繰延税金資産	1,173	864
その他	6,514	9,722
貸倒引当金	△225	△238
流動資産合計	136,192	139,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	101,821	109,465
土地	28,998	31,196
リース資産(純額)	4,151	4,289
その他(純額)	9,095	8,436
有形固定資産合計	144,066	153,388
無形固定資産	7,432	7,628
投資その他の資産		
投資有価証券	1,442	2,583
繰延税金資産	6,578	6,552
敷金及び保証金	9,255	8,522
その他	1,594	1,681
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	18,871	19,339
固定資産合計	170,369	180,355
資産合計	306,562	320,001

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,325	27,299
電子記録債務	22,383	27,327
短期借入金	7,200	280
1年内返済予定の長期借入金	4,480	17,219
リース債務	1,618	1,638
未払法人税等	3,223	2,516
賞与引当金	1,663	777
役員賞与引当金	18	14
役員退職慰労引当金	53	—
店舗閉鎖損失引当金	74	44
ポイント引当金	581	821
災害損失引当金	1	9
その他	12,467	18,245
流動負債合計	82,091	96,193
固定負債		
長期借入金	47,648	36,115
リース債務	3,333	3,356
役員退職慰労引当金	124	124
退職給付に係る負債	10,265	10,837
資産除去債務	5,710	6,256
その他	2,146	2,398
固定負債合計	69,229	59,087
負債合計	151,321	155,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,802	18,802
資本剰余金	25,260	25,260
利益剰余金	120,919	129,405
自己株式	△9,147	△9,125
株主資本合計	155,835	164,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	162	914
繰延ヘッジ損益	△53	5
退職給付に係る調整累計額	△823	△658
その他の包括利益累計額合計	△714	261
新株予約権	120	116
純資産合計	155,241	164,720
負債純資産合計	306,562	320,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	249,830	258,456
売上原価	170,779	176,653
売上総利益	79,050	81,802
営業収入	8,381	8,552
営業総利益	87,432	90,355
販売費及び一般管理費	72,116	74,867
営業利益	15,316	15,488
営業外収益		
受取利息	17	14
受取配当金	20	156
為替差益	102	—
デリバティブ評価益	149	69
その他	199	214
営業外収益合計	489	454
営業外費用		
支払利息	252	207
デリバティブ決済損	115	61
その他	74	170
営業外費用合計	442	440
経常利益	15,362	15,503
特別利益		
受取保険金	300	69
受取補償金	—	288
特別利益合計	300	357
特別損失		
災害による損失	424	63
固定資産処分損	205	136
減損損失	14	101
特別損失合計	643	301
税金等調整前四半期純利益	15,019	15,559
法人税、住民税及び事業税	4,728	4,992
法人税等調整額	238	155
法人税等合計	4,967	5,148
四半期純利益	10,052	10,411
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,052	10,411

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	10,052	10,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97	751
繰延ヘッジ損益	94	59
退職給付に係る調整額	228	164
その他の包括利益合計	419	975
四半期包括利益	10,472	11,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,472	11,386
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

3. 補足情報

商品部門別売上状況

(単位：百万円、%)

部門別	前第3四半期 連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)		前年 同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
金物・資材・建材	76,015	29.4	79,078	29.6	104.0
園芸・農業用品	62,003	24.0	63,624	23.8	102.6
家庭用品	67,842	26.3	68,620	25.7	101.1
オフィス・レジャー用品	34,477	13.4	35,201	13.2	102.1
灯油他	5,908	2.3	8,217	3.1	139.1
ホームセンター部門計	246,246	95.4	254,741	95.4	103.4
その他	3,583	1.4	3,715	1.4	103.7
売上高合計	249,830	96.8	258,456	96.8	103.5
営業収入	8,381	3.2	8,552	3.2	102.0
営業収益	258,212	100.0	267,009	100.0	103.4

(注) 商品別の各構成内容は次のとおりであります。

金物・資材・建材	(建築金物、資材・建具、工具、ペイント・内装、作業衣料等)
園芸・農業用品	(園芸・農具、植物等)
家庭用品	(日用品・家庭用品、電気製品、インテリア、服飾雑貨等)
オフィス・ レジャー用品	(オフィス用品、家具収納、スポーツ・レジャー、文具・玩具、ペット、 カー用品等)
灯油他	(燃料等)